

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

英雄の生涯

ドラマティックな響き、
圧倒的なスケール感！
華麗なサウンドで紡ぐ
R. シュトラウスの代表作

クラリネット界の最先端を走る
名手が奏でる極上のモーツァルト

モーツァルト：クラリネット協奏曲 イ長調 K. 622

MOZART: Clarinet Concerto in A major, K. 622

R.シュトラウス：交響詩「英雄の生涯」 作品40

R. STRAUSS: Ein Heldenleben, op. 40

第1コンサートマスター＝林 悠介

First Concertmaster＝ YUSUKE HAYASHI

円熟味を増す日本を代表する名匠

指揮＝尾高忠明 (名誉客演指揮者)

Conductor＝ TADAAKI OTAKA (Honorary Guest Conductor)

フランス放送フィルの首席を務め、
ソロでも活躍するフランスの名手
クラリネット＝ニコラ・バルディルー

Clarinet＝ NICOLAS BALDEYROU

読売日本交響楽団 第286回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 286

2026年 **4月4日** (土)
Saturday, 4 April 2026

読売日本交響楽団 第286回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 286

2026年 **4月5日** (日)
Sunday, 5 April 2026

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール

14:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

SY8,800 AY6,600 BY5,500 CY5,000

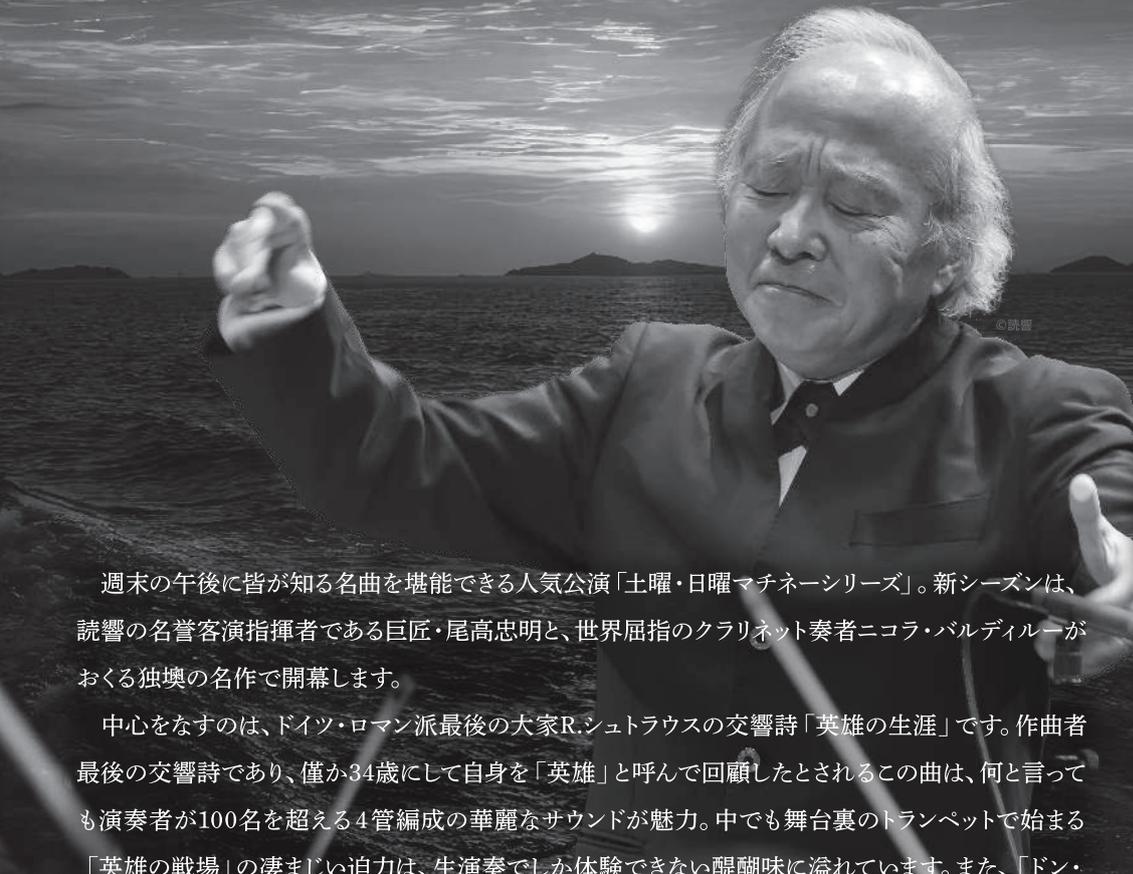
お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター **0570-00-4390** (10時～18時・年中無休)

学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

<https://yomikyo.or.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

円熟味を増した名匠・尾高忠明が振る《英雄の生涯》 フランス放送フィル首席バルディルーが奏でる極上のモーツァルト



尾高忠明 (指揮)

TADAAKI OTAKA, Conductor

国内外の名だたる楽団と共演を重ねてきた日本を代表する名匠。1947年生まれ。桐朋学園大学、ウィーン国立アカデミーで学んだ後、東京フィル常任指揮者やBBCウェールズ響首席指揮者を務め、多くの英国音楽を手がけた。読響では92～98年に第6代常任指揮者を務め、現在は名誉客演指揮者の任にある。札幌響音楽監督、メルボルン響首席客演指揮者、新国立劇場オペラ芸術監督を歴任。現在は大阪フィル音楽監督、N響正指揮者、紀尾井ホール室内管桂冠名誉指揮者。2021年から「東京国際指揮者コンクール」審査委員長を務めている。大英勲章CBE、英国エルガー協会から日本人初のエルガー・メダルを授与された。21年秋に旭日小綬章を受章。25年3月から日本芸術院会員。

週末の午後に皆が知る名曲を堪能できる人気公演「土曜・日曜マチネーシリーズ」。新シーズンは、読響の名誉客演指揮者である巨匠・尾高忠明と、世界屈指のクラリネット奏者ニコラ・バルディルーがおくる独逸の名作で開幕します。

中心をなすのは、ドイツ・ロマン派最後の大家R.シュトラウスの交響詩「英雄の生涯」です。作曲者最後の交響詩であり、僅か34歳にして自身を「英雄」と呼んで回顧したとされるこの曲は、何と云っても演奏者が100名を超える4管編成の華麗なサウンドが魅力。中でも舞台裏のトランペットで始まる「英雄の戦場」の凄まじい迫力は、生演奏でしか体験できない醍醐味に溢れています。また、「ドン・ファン」「ツァラトゥストラはかく語りき」ほか多数の自作が登場する「英雄の業績」の表現や、「英雄の伴侶」等におけるコンサートマスターのヴァイオリン・ソロも聴きもの。これらをはじめ全編にわたって読響のゴージャスなサウンドと卓越した技量を満喫できること間違いありません。同曲を得意とする尾高の円熟芸ももちろん楽しみ。的確な造形にコクや味わいを加えているベテランのタクトが、曲の真髄を明快に伝えてくれます。

前半はモーツァルトのクラリネット協奏曲。亡くなる直前に完成された天才最後の協奏曲にして、古今の協奏曲の中でも極上の傑作と称されるクラリネット音楽の最高峰です。この曲は晩年特有の透明な美しさや枯淡^{こたん}の情感が胸に沁みる音楽。その演奏に浸るだけで満足できる名作ですが、ソロを吹くバルディルーも大注目です。難関ミュンヘン国際音楽コンクール等で数々の賞を受賞後、ソリストとして世界の第一線で活躍する彼は、まろやかな音色と細やかな表情で魅了します。特に、当時の名手シュタードラーが吹くバセット・クラリネット（低音が通常より広い）のために書かれたモーツァルトの協奏曲では、ピリオド楽器（古楽器）にも造詣が深い彼の演奏への期待が大いに膨らみます。

柴田克彦 (音楽ライター)



ニコラ・バルディルー (クラリネット)

NICOLAS BALDEYROU, Clarinet

熟練のテクニクと卓越した音楽性を併せ持つ名手。フランス出身。ミュンヘンARD国際コンクール最高位受賞、ドス・エルマナス・コンクールなどで入賞多数。以来、カーネギーホール、コンセルトヘボウなど、世界中の名だたるコンサートホールで演奏している。2011年からフランス放送フィルの首席奏者。ソリストとしてバイエルン放送響、フランス国立管など欧州の著名楽団と共演を重ねるほか、リサイタルや室内楽の分野でも幅広く活躍している。2025/26年シーズンには、フランス放送フィルとサウリ・ジノヴィエフのクラリネット協奏曲の初演を予定している。07年よりリヨン国立高等音楽院で教鞭をとり、19年よりスコットランド王立音楽院客員教授を務める。読響初登場。

読響日本交響楽団 第286回 土曜 マチネーシリーズ

2026年 **4月4日** (土) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

読響日本交響楽団 第286回 日曜 マチネーシリーズ

2026年 **4月5日** (日) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■読響WEB 東京芸術劇場には一時託児サービスがあります (公演1週間前までに予約)。株式会社明日香0120-165-115 (予約受付: 平日9時-17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296